

ペアレント・メンターの方への調査協力をお願い

ペアレント・メンター（以下：メンター）活動は、厚生労働省の発達障害者支援体制整備事業にも組み込まれ、メンターへの期待は社会的にも高まってきています。

しかし、メンター活動は親がおこなうボランティア的な活動であり、メンター自身に過剰な負担をかけないための社会的なサポートを支援機関や行政に浸透させることは、今後の重要なテーマであるといえます。

また、この時期にメンター活動とは何か、どうあるべきか、ということについてメンター自身の個々の体験や視点から、そのメリットとデメリットなどについて整理していくことも、今後のメンター活動の展開やメンターへの支援としてどのようなことが必要なかを考える上で重要なことであると考えています。

そこでこの度、厚生労働省の家族支援事業として、メンターとして活動されている方々にアンケート調査を行わせていただき、メンター活動を支えているものは何かを明らかにするとともに、メンターの方々が必要とするサポートについて考えるための資料を得たいと考えております。みなさまからの率直なご回答をもとに、メンターの方々がやりがいをもって活動されるためのサポートについて検討させていただきたいと思っております。

いただいたご回答につきましては、無記名であり統計的に処理されるため、個人が特定されることはございません。また、結果については厚生労働省の関係 14 にて公表され、今後のメンター活動展開の資料とする予定になっております。

ご回答のために貴重なお時間をいただくこととなりますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

鳥取大学大学院 医学系研究科

臨床心理学専攻 教授 井上 雅彦

修士課程 1 年 綾木香名子

E mail : mentor_survey2014@yahoo.co.jp

本調査についてご質問等ございましたら、上記のアドレスまでご連絡ください。

ペアレント・メンターの方へのアンケート調査

ペアレント・メンター（以下：メンター）活動は、厚生労働省の発達障害者支援体制整備事業にも組み込まれ、メンターへの期待は社会的にも高まってきています。しかし、メンター活動は親がおこなうボランティア的な活動であり、メンター自身に過剰な負担をかけないための社会的なサポートを支援機関や行政に浸透させることは、今後の重要なテーマであるといえます。

この度、メンターとして活動されている方々にアンケート調査を行わせていただき、みなさまからの率直なご回答をもとに、メンター活動を支えているものは何かを明らかにするとともに、メンターの方々がやりがいをもって活動されるためのサポートについて検討させていただきたいと思っております。

いただいたご回答につきましては、無記名であり統計的に処理されるため、個人が特定されることはございません。

調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

お忙しいところ恐れ入りますが、**2月28日(金)**までに返信用封筒にて郵送いただきますようお願いいたします。

(ご協力いただける方は、期日を過ぎてもご回答・郵送いただければ幸いです。)

鳥取大学大学院 医学系研究科

臨床心理学専攻 教授 井上 雅彦

修士課程 1 年 綾木香名子

E mail : mentor_survey2014@yahoo.co.jp

本調査についてご質問等ございましたら、上記のアドレスまでご連絡ください。

1. ペアレント・メンター（以下：メンター）として活動しているあなた自身と、お子様について伺います。

① あなたの住んでいる地域
() 都・道・府・県 () 市・郡・区

② あなたの年齢 / 性別
() 歳 / 女 ・ 男

L あなたのご職業
会社員 ・ 公務員 ・ 自営業 ・ 専業主婦（主夫） ・ パート・アルバイト ・ 学生 ・
その他 ()

④ 同居中のご家族（あてはまるもの全てに○）
私の父【実父】 ・ 私の母【実母】 ・ 夫（妻）の父【義父】 ・ 夫（妻）の母【義母】 ・
夫（妻） ・ 子（ 人） ・ その他（)

⑤ お子様との続柄
母親 ・ 父親 ・ その他（)

⑥ 診断を受けているお子様の年齢 / 性別、きょうだいの有無
(お子様のきょうだいについては、あてはまるもの全てに○をつけてください)

1人目 () 歳 () 月 / 女 ・ 男
▶ 兄がいる ・ 姉がいる ・ 弟がいる ・ 妹がいる ・ きょうだいはいない

2人目 () 歳 () 月 / 女 ・ 男
▶ 兄がいる ・ 姉がいる ・ 弟がいる ・ 妹がいる

※診断を受けているお子様が3名以上いらっしゃる場合は、下の枠内に年齢・性別・きょうだいについてご記入ください。

⑦ お子様（1人目）の診断名（あてはまるもの全てに○）
自閉症スペクトラム ・ アスペルガー症候群 ・ 広汎性発達障害 ・ 自閉症 ・ 知的障害 ・
AD/HD（注意欠陥/多動性障害） ・ LD/(学習障害) ・
その他 ()

※診断を受けているお子様が複数名いらっしゃる場合は、下の枠内に2人目以降のお子様の診断名をご記入ください。

2. あなたのメンター活動について伺います。

① あなたのメンター活動の内容
(今おこなっているもの全てに○をつけ、
今はおこなっていないが過去におこなったことがあるもの全てに△をつけてください)

個別相談 ・ グループ相談 ・ 電話相談 ・ メール相談 ・
ペアレント・トレーニングの協力 ・ 情報交換会（保護者勉強会） ・ 理解・啓発活動 ・
サポートブック作成指導 ・ その他 ()

② メンター養成講座（ベーシック）を初めて受講した際の主催機関・受講年（事前研修は除く）
※2回以上受講された方は、下の枠内に2回目以降の受講について主催機関・受講年をご記入ください。

【 主催機関 】
自閉症協会 ・ 自治体（都道府県など） ・ 発達障害者支援センター ・
その他 ()

【 受講年 】
平成 () 年

③ メンターとしての活動歴（メンター養成講座を受講してからの年数）に○をつけてください。
1年以上の方は () 内に年数をご記入ください。
1年未満 ・ () 年

④ 現在のメンター活動の頻度（平均してどれくらいかお答えください）
週に3～(日以上) ・ 週に1～2日 ・ 月に1～2日 ・ 半年に1～2日以下

⑤ メンター活動のための準備時間について、(例)のようにご記入ください。

(例) 週に
月に (6) 時間程度かかっている
半年に

週に
月に () 時間程度かかっている
半年に

⑥ メンター活動をおこなう上であなた自身が負担している費用と金額

(援助なし・一部援助あり・全部援助ありのいずれかに○、援助ありの場合は援助元も記入)

- ・通信費：()円程度/年
 援助なし ・ 一部援助あり ・ 全部援助あり
 (援助元：)
- ・交通費：()円程度/年
 援助なし ・ 一部援助あり ・ 全部援助あり
 (援助元：)
- ・事務費：()円程度/年
 援助なし ・ 一部援助あり ・ 全部援助あり
 (援助元：)
- ・託児費：()円程度/年
 援助なし ・ 一部援助あり ・ 全部援助あり
 (援助元：)
- ・その他：(費)
 ()円程度/年
 援助なし ・ 一部援助あり ・ 全部援助あり
 (援助元：)

P メンターになった動機

(あてはまるもの全てに○をし、最も強い動機を一番下の()内に番号で記入してください。)

1. 人のために何かしたいと思った
2. 余暇時間を有意義に過ごしたかった
3. 自分の技術や能力・経験を生かしたかった
4. 社会への奉仕がしたかった
5. 生きがいを持ちたかった
6. 活動を通して友人や仲間を増やしたかった
7. 専門機関との付き合いが増えと思った
8. メンター活動に興味があった
9. 知人・所属する会などから勧められた
10. 相談技術・コミュニケーションスキルを身につけたかった
11. その他 ()

○をつけた中で、最も強い動機は何ですか (一つだけ 番号で記入)

()

3. メンター活動を通して得られた「あなた自身の変化」についてお伺いします。
 それぞれの項目について、あなたの変化を最もよく表すと思う数字を選び○をつけてください。

		あてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	あてはまる
1	自分の経験をいかすことによってメンター活動にやりがいを感じた	1	2	3	4	5
2	自分の子育てを良い意味で振り返ることができた	1	2	3	4	5
3	今後の自分の子育てにいかそうと思った	1	2	3	4	5
4	無理なく子どもに寄り添えるようになった	1	2	3	4	5
5	自分の子どもの特性について考えるようになった	1	2	3	4	5
6	子どもと適度な距離がとれるようになった	1	2	3	4	5
7	子どもの成長を感じた	1	2	3	4	5
8	子育てに対する気負いがなくなった	1	2	3	4	5
9	これまでの自分の頑張りを肯定できるようになった	1	2	3	4	5
10	自分の子ども以外の子の話を聞いて視野が広がった	1	2	3	4	5
11	自分の存在価値を感じた	1	2	3	4	5
12	自分自身を客観的に見るできるようになった	1	2	3	4	5
13	親同士の助け合いが大事だと気づいた	1	2	3	4	5
14	子育てについて話し合える・相談できる相手が出た	1	2	3	4	5
15	他の人に対してやさしくなった	1	2	3	4	5
16	色々な価値観を認められるようになった	1	2	3	4	5
17	他の子どもに対する理解が深まった	1	2	3	4	5
18	他の人の背景に目を向けるようになった	1	2	3	4	5

		あてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	あてはまる
19	話し方に気をつけるようになった	1	2	3	4	5
20	聴き方に気をつけるようになった	1	2	3	4	5
21	相手の気持ちに寄り添えるようになった	1	2	3	4	5
22	自分の意見を押しつけなくなった	1	2	3	4	5
23	立場が違う人の気持ちを理解できるようになった	1	2	3	4	5
24	障害や支援に関する情報提供ができるようになった	1	2	3	4	5
25	障害や支援に関する情報を得る機会が増えた	1	2	3	4	5
26	積極的に学ぼうとするようになった	1	2	3	4	5
27	専門機関とのつながりができた	1	2	3	4	5
28	行政とのつながりができた	1	2	3	4	5
29	親同士のつながりが強まった	1	2	3	4	5
30	色々な人と出会える機会が増えた	1	2	3	4	5
31	障害と関わりのない友人からの理解が得られた	1	2	3	4	5
32	地域の支援システムに参加できるようになった	1	2	3	4	5
33	家族の協力が得られるようになった	1	2	3	4	5
34	自分の家族全体が見えるようになった	1	2	3	4	5
35	家族全体の関係が良くなった	1	2	3	4	5

4. 現在メンター活動をおこなう中であなたが感じていることについてお伺いします。

それぞれの項目についてどの程度あてはまると思うか、あなたの気持ちを最もよく表す数字に○をつけてください。

		あてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	あてはまる
1	自分が経験していないことについて相談に乗るのが負担である	1	2	3	4	5
2	自分の考えを相談者にどう伝えたらいいかわからない	1	2	3	4	5
3	自分の言ったことを相談者に受け入れてもらえない	1	2	3	4	5
4	相談を受けた後、これでよかったのか不安になる	1	2	3	4	5
5	自分では役に立てないのではと自信がもてない	1	2	3	4	5
6	決められた時間で相談が終われない	1	2	3	4	5
7	メンター以外の親から嫌味を言われ、不快に感じる	1	2	3	4	5
8	メンター同士の関係に不和があり困っている	1	2	3	4	5
9	自分がメンター活動をすることで家族に負担をかけ、申し訳なく思う	1	2	3	4	5
10	メンター活動に金銭面での負担を感じる	1	2	3	4	5
11	メンター活動のために時間を割くことに負担を感じる	1	2	3	4	5
12	メンター活動をすることに体力的・精神的に疲れを感じる	1	2	3	4	5
13	メンターの人数が足りない	1	2	3	4	5
14	自分に合わないメンター活動をするのが負担である	1	2	3	4	5
15	メンター同士のつながりが少ない	1	2	3	4	5
16	先輩メンターからのフォローが少ない	1	2	3	4	5
17	相談後の照会先がない	1	2	3	4	5
18	自分の手に負えない相談者がいる	1	2	3	4	5

【付録資料 5】

5. 以下の項目で示される内容にあなたはどの程度あてはまりますか。それぞれの項目について、普段の自分について最もよくあてはまる度合いに○をつけてください。

		全く ちがう	いく らか そうだ	まあ そ うだ	その 通り だ
1	怒りっぽくなる	1	2	3	4
2	悲しい気分だ	1	2	3	4
3	何となく心配だ	1	2	3	4
4	怒りを感じる	1	2	3	4
5	泣きたい気持ちだ	1	2	3	4
6	感情を抑えられない	1	2	3	4
7	くやしい思いがする	1	2	3	4
8	不愉快だ	1	2	3	4
-	気持ちが沈んでいる	1	2	3	4
10	いらいらする	1	2	3	4
11	いろいろなことに自信がない	1	2	3	4
12	何もかもいやだと思う	1	2	3	4
13	よくないことを考える	1	2	3	4
14	話や行動がまとまらない	1	2	3	4
15	なぐさめて欲しい	1	2	3	4
16	根気がない	1	2	3	4
17	ひとりでいたい気分だ	1	2	3	4
18	何かに集中できない	1	2	3	4

アンケートは以上で終了です。
ご協力ありがとうございました。

ペアレント・プログラムの感想（参加者のみなさま）

ペアレント・プログラム（ペアプロ）へのご参加お疲れ様でした。今後、各地域にペアプロを普及していくにあたり、ご参加いただいた方からペアプロに関する感想について貴重なご意見をいただければ幸いです。ご多忙の中誠に恐縮ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

実施会場： 相馬・郡山 お子さんの年齢・性別： 歳 男・女

1. ペアプロに参加したことで、お子さんへの関わり方について良かったこと・気づいたことはありますか？ 思いつくことをご自由にお書きください。

2. ペアプロに参加したことで、あなた自身について良かったこと・気づいたことはありますか？ 思いつくことをご自由にお書きください。

3. ペアプロの内容やワークなどで難しかったことはありますか？ 思いつくことをご自由にお書きください。

ご協力、誠にありがとうございました。

ペアレント・プログラムの感想（スタッフの方）

ペアレント・プログラム（ペアプロ）へのご参加お疲れ様でした。今後、各地域にペアプロを普及していくにあたり、ご参加いただいた方からペアプロに関する感想について貴重なご意見をいただければ幸いです。ご多忙の中誠に恐縮ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

実施会場：相馬・郡山 あなたの年齢・性別・職種：____歳 男・女 _____

1. ペアプロに参加したことで、良かったこと・気づいたことはありますか？ 思いつくことをご自由にお書きください。

2. ペアプロの内容やワークなどで難しかったことはありますか？ 思いつくことをご自由にお書きください。

3. あなたの地域でペアプロを実施するとした場合、どのような施設やスタッフでやれるといいかなと思いますか？ 今あるイメージで結構ですので、ご自由にお書きください。

ご協力、誠にありがとうございました。

ペアレント・プログラムの感想（運営の方）

ペアレント・プログラム（ペアプロ）の実施に関して多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。今後、各地域にペアプロを普及していくにあたり、準備や実施に携わっていただいた方々から実際の活動について、またペアプロに関する感想について貴重なご意見をいただければ幸いです。ご多忙の中誠に恐縮ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

実施会場：相馬・郡山 参加スタッフの数：____名 参加者（母親）の数：____名

1. ペアプロ実施に向けた事前準備について

- 1) プログラムに参加するスタッフや、託児スタッフ（いる場合）はどのように募集しましたか？また スタッフ間の情報のやりとりはどのように行いましたか？

- 2) 参加者のお母さん方はどのように募集されましたか？具体的な広報や勧誘・申し込み手続きの方法など、お教えてください。

2. ペアプロの感想

- 1) ペアプロ実施に携わってみて、良かったことは何ですか？ ご自由にお書きください。

2) ペアプロの準備や実施などで、難しかったことは何ですか？ ご自由にお書きください。

3. あなたの地域で今後もペアプロを実施するとした場合、どのような施設やスタッフでやれるといいかなと思いますか？ 今あるイメージで結構ですので、ご自由にお書きください。

ご協力、誠にありがとうございました。

発行 特定非営利活動法人アスペ・エルデの会

〒452-0821 名古屋市西区上小田井 2-187

メゾンドボヌー小田井 201 号室

電話・FAX 052-505-5000

メール : info@as-japan.jp